NETGEAR
BUSINESS

インストールガイド

マルチギガ8ポート SFP+スロット×2 アプリ&クラウド スマートスイッチ
MS510TXM

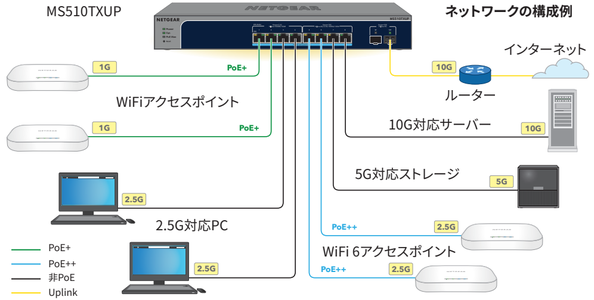
Ultra60 PoE++対応 マルチギガ8ポート SFP+スロット×2 アプリ&クラウド スマートスイッチ
MS510TXUP

同梱物

- スイッチ本体
- 電源コード
- ゴム足
- ラック取り付け用のラックマウントキット
- インストールガイド

メモ: 設置方法の詳細については、ハードウェアインストールガイド (https://jp.netgear.com/support/ からダウンロード可能) を参照してください。

手順1: スイッチの接続



本製品は、屋内専用です。屋外のデバイスを接続する場合は、適切に接地し、サージ保護する必要があります。スイッチと屋外のデバイスの間にはイーサネット用サージ防護機器を取り付けてください。これらを行わない場合、スイッチが損傷する恐れがあります。

警告: 本スイッチを屋外のケーブルまたはデバイスに接続する前に、安全および保証に関する情報を次のURLでご確認ください: https://kb.netgear.com/ja/000057103

1. デバイスをスイッチのポート (1～8) に接続します。

   1/2.5/5Gbpsの通信速度で接続するには、カテゴリー5e (Cat 5e) 以上のLANケーブルを使用してください。10Gbps接続の場合は、カテゴリー6a (Cat 6a) 以上のLANケーブルを使用してください。

2. スイッチのポートを、ネットワークに接続します。

   メモ: 小規模ネットワークでは、モデムまたはゲートウェイに接続しているルーターのLANポートにスイッチを接続します。

   SFP+ポートを使用する場合は、SFP+モジュール (NETGEARから購入可能) をご使用ください。

3. スイッチの電源を入れ、約2分間待ちます。

   ネットワークにDHCPサーバーが存在する場合は、スイッチに新しいIPアドレスが自動的に割り当てられます。
   存在しない場合は、192.168.0.239/24 のIPアドレスが割り当てられます。

手順2: PoEステータスの確認 (MS510TXUPのみ)

MS510TXUPは、ポート1～8で各ポート最大60 WのPoE++ (IEEE 802.3bt) 給電が可能で、有効なPoE++ポート全体でのPoE給電能力は295 Wです。

PoE Max LEDはスイッチ全体のPoEステータスを表示します。

- **消灯**: 十分な状態です。給電能力が7 Wを上回っています。
- **黄色点灯**: 給電可能な電力が7 W未満です。
- **黄色点滅**: 2分以内に少なくとも1回、PoE給電能力が7 Wを下回りました。

手順3: スイッチのIPアドレスの検出およびスイッチの管理

次の表に記載されているいずれかの方法で、スイッチにアクセスおよび管理できます。

A.	**NETGEAR Discovery ToolおよびスタンドアロンのローカルNETGEAR Insight管理**: 参照: A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する
B.	**NETGEAR Insightクラウドポータルまたは NETGEAR Insightアプリのリモート管理:** 参照: B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する

メモ: 詳細については、ユーザーマニュアルの手順を参照してください。マニュアルは、NETGEARダウンロードセンター (https://www.jp.netgear.com/support/download/) からダウンロードできます。NETGEARダウンロードセンターのQRコードは右側に記載されています。NETGEAR Insightを使用してスイッチを管理する方法の詳細については、kb.netgear.com/000044336 を参照してください。

A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する

NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する

NETGEAR Discovery Tool (NDT) を使用すると、スイッチと同じネットワークに接続されているMacまたはWindowsベースのPCから、ネットワーク内にあるスイッチのIPアドレスを検出できます。このツールは、https://www.netgear.com/jp/support/product/netgear-discovery-tool/ からダウンロードできます。

スイッチのWeb管理者ページを使用してスイッチを管理する

スイッチはプラグ&プレイでそのまま使用することもできますが、Web管理者ページにログインすれば、様々な機能をご利用いただけます。

1. スイッチと同一ネットワークに接続済みのPCやタブレットから、Webブラウザーを起動します。有線接続またはWiFi接続を使用できます。
2. Webブラウザーのアドレス欄に、NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出するで確認したスイッチIPアドレスを入力します。

   スイッチがインターネットに接続されている場合は、登録して保証を有効化するためのページが表示されます。ただし、NETGEAR Insightアプリですでにスイッチを登録している場合は、Web管理者ページのログインページが表示されるので、手順4に進んでください。
3. まだNETGEAR Insightアプリでスイッチを登録していない場合は、次のいずれかのボタンをクリックします。
   - **デバイスの登録**: このボタンは、スイッチがインターネットに接続されている場合に表示されます。スイッチを登録して保証を有効化できます。スイッチを登録する多くのメリットについては、www.netgear.com/jp/why-register/ を参照してください。
   - **登録キーを入力**: 登録キーを取得している場合 (MyNETGEAR.com サイトでスイッチを登録した場合など)、キーを入力してWeb管理者ページにログインできます。
   - **登録をスキップして管理者ページにアクセス**: 登録は必須ではありませんが、登録を強くお勧めします。購入後30日以内にスイッチを登録しないと、保証資格に影響する場合があります。
4. 入力画面が表示されたら、デフォルトのデバイス管理者パスワード (**password**) を入力し、**[ログイン]** ボタンをクリックします。
5. [デフォルトのパスワードの変更] ページが表示されたら、新しいデバイス管理者パスワードを入力、確認し、**[送信]** ボタンをクリックして、新しいパスワードを使用して再度ログインします。

   システム情報ページが表示されます。スイッチにログイン後は、スイッチをセットアップできるようになります。Web管理者ページからのスイッチの設定の詳細については、ユーザーマニュアル (https://www.jp.netgear.com/support/download/ から型番を入力してダウンロード可能) を参照してください。

2024年8月
201-27555-04

B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する

NETGEAR Insight PremiumおよびInsight Proの契約ユーザーの場合、NETGEAR InsightクラウドポータルとNETGEAR Insightアプリをスイッチで利用できます。スイッチを検出および管理するには、次のいずれかの方法を使用します。

メモ: InsightクラウドポータルまたはInsightアプリを使用してスイッチを管理する場合も、引き続きWeb管理者ページを使用してスイッチを管理することもできます。つまり、これらの管理方法は相互に排他的なものではなく、互いを補完するものです。Insightへの変更はWeb管理者ページに同期され、逆にWeb管理者ページへの変更はInsightに同期されます。Insightはスイッチでデフォルトで有効になっています。

Insightクラウドポータルを使用してスイッチを検出および管理する

クラウドベースの管理プラットフォームInsightのポータルからスイッチを検出し、管理することができます。

1. PCまたはタブレットで、insight.netgear.com にアクセスします。
2. NETGEARアカウントのメールアドレスとパスワードを入力し、**[NETGEARサインイン]** をクリックします。
3. Insight Proユーザーの場合は、スイッチを追加する組織を選択します。
4. スイッチを追加する新しいネットワークロケーションを追加するか、既存のネットワークロケーションを選択します。ネットワークロケーションに設定したデバイス管理者パスワードによって、ネットワークロケーションに追加したすべてのデバイスの既存の管理者パスワードが置き換えられます。
5. **+ (デバイスの追加)** ボタンをクリックします。

   メモ: Insight Proユーザーは、デバイスを1台ずつ追加するか、CSVファイルでデバイスリストをアップロードして、複数のデバイスを追加することもできます。
6. [新しいデバイスの追加] ポップアップページで、スイッチのシリアル番号とMACアドレスを入力し、**[進む]** をクリックします。
7. 必要に応じてスイッチのデバイス名を変更し、**[次へ]** をクリックします。
   セットアップが進行中であることを確認するページが表示されます。

   メモ: スイッチがオンラインであるにもかかわらず検出されない場合、スイッチが配置されている場所にあるファイアウォールによって、Insightクラウドとの通信が妨げられている可能性があります。この場合は、ファイアウォールへのアウトバウンドアクセス用にポートとDNSエントリを追加します。詳細については、kb.netgear.com/000062467 を参照してください。

   スイッチは、最新のファームウェアおよびロケーション設定に自動的に更新されます。これには最大10分かかる場合があり、その間にスイッチが再起動します。スイッチはInsightの管理対象デバイスとなり、Insightのクラウドベースの管理プラットフォームに接続されます。

NETGEAR Insightアプリを使用してスイッチを検出および管理する

Insightアプリを使用して、iOSまたはAndroidモバイルデバイスからスイッチを検出、管理し、クラウドベースの管理プラットフォームInsightに接続できます。

1. モバイルデバイスから各ストアにアクセスし、「NETGEAR Insight」と検索して最新バージョンのアプリをダウンロードします。
2. NETGEAR Insightアプリを起動します。
3. NETGEARアカウントをお持ちでない場合は、**[NETGEARアカウントの作成]** をタップし、画面に表示される指示に従います。
4. NETGEARアカウントのログイン情報を入力し、**[サインイン]** をタップします。
   - **スイッチおよびモバイルデバイスが同じネットワークに接続されている**。スイッチとそのIPアドレスがデバイスリストに表示されます。以下の操作を実行します。
     a. スイッチを選択するか、**[未登録]** をタップします。
     b. 次の画面で **[デバイスの追加]** をタップし、手順5に進みます。
     スイッチがデバイスリストに表示されない場合は、右上隅の **[+]** をタップし、**[ネットワークをスキャン]** をタップします。それでもスイッチが表示されない場合は、NDTを使用してスイッチを検出します。詳細は、「NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する」を参照してください。
   - **スイッチとモバイルデバイスが同じネットワークに接続されていない場合**。スイッチとそのIPアドレスはデバイスリストに表示されません。以下の操作を実行します。
     a. 右上隅の **[+]** をタップします。
     b. モバイルデバイスのカメラでバーコードまたはQRコードをスキャンするか、シリアル番号を入力して、手順5に進みます。
5. 画面の指示に従って、スイッチの登録を完了します。

メモ: InsightとWeb管理者ページの両方を使用してスイッチを管理する場合、Insightネットワークロケーションにスイッチを追加すると、Insightネットワークロケーションのパスワードが、Web管理者ページのスイッチ管理者パスワードに置き換わります。Web管理者ページにアクセスするには、Insightネットワークロケーションのパスワードを入力する必要があります。

PoEに関する考慮事項 (MS510TXUPのみ)

PoE給電は小さい番号のポート (ポート1からポート8の順) が優先され、スイッチ全体では295Wを給電することができます。

次の表は、オーバーライドが適用されていない標準の電力範囲を示しており、最大ケーブル長は100メートルで計算されています。スイッチからPDデバイスに十分な電力が配給されない場合は、短いLANケーブルの使用をご検討ください。

クラス	対応PoE規格	クラスの説明	スイッチから供給される最大電力	受電デバイス (PD) の電力範囲
0	PoE	デフォルト (フル)	15.4 W	0.44 W～13.0 W
1	PoE	超低消費電力	4.0 W	0.44 W～3.84 W
2	PoE	低消費電力	7.0 W	3.84 W～6.49 W
3	PoE	中消費電力	15.4 W	6.49 W～13.0 W
4	PoE+	高消費電力	30.0 W	13.0 W～25.5 W
5	PoE++	超高消費電力	45.0 W	25.5 W～40.0 W
6～8	PoE++	超高消費電力	60.0 W	40.0 W～51.0 W

PoEに関するトラブルシューティング (MS510TXUPのみ)

PoEに関するよくあるトラブルの解決方法を以下で説明します。

- PoE Max LEDが黄色に点灯している場合は、供給可能電力が不足しています。不要な受電デバイスをスイッチから切断することをおすすめします。
- 各受電デバイス (PD) がスイッチに接続されると、対応するスイッチ上のPoE LEDが緑色に点灯します。LEDが黄色に点灯している場合は、次の表に示される要因によりPoE給電が停止しています。

PoEの障害原因	解決策
PoEが関係する短絡がポートで発生しています。	受電デバイスに原因がある可能性が高いです。受電デバイスの状態を確認するか、一度LANケーブルを抜き差して受電デバイスを再起動してください。もしくは、短いLANケーブルに替えてみてください。
受電デバイスが要求する電力が、ポートが供給可能な電力を上回っています。最大電力は、PoE接続で15.4W、PoE+接続では30W、PoE++接続では60Wです。	
受電デバイスが要求する電力が、PoEクラスの範囲外です。	
ポートのPoE電圧がスイッチの許容範囲外です。	スイッチを再起動して現象が改善するかお試しください。受電デバイスの状態を確認するか、一度LANケーブルを抜き差して受電デバイスを再起動してください。もしくは、短いLANケーブルに替えてみてください。

サポートおよびコミュニティ

不明点がある場合や、最新版のダウンロードについては、https://jp.netgear.com/support/ にアクセスしてください。

また、NETGEARコミュニティ (https://community.netgear.com/jp) で役に立つアドバイスを提供しています。

法規制およびコンプライアンス

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、https://jp.netgear.com/about/regulatory/ を参照してください。

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

本製品は屋外ではご使用になれません。PoEによる給電は屋内での接続のみを想定しています。

NETGEAR®
ネットギアジャパン合同会社

© NETGEAR, Inc.、NETGEAR、および NETGEARのロゴはNETGEARの商標です。
その他の商標またはロゴは参照目的のためにのみ使用されています。